

企画セッション

◆ 企業の若手実務者によるトークセッション ～ 知財分野で働くことの意義 ◆

■ 登壇者

モデレータ

日本アイ・ビー・エム株式会社 知的財産 上野剛史

パネリスト

ソフトバンク株式会社 法務部知財グループ 網野圭亮

味の素株式会社 知的財産部契約・商標グループ 遠藤清佳

キヤノン株式会社 知的財産第一技術センター医療機器知財1課 鈴木 建

日本電気株式会社 知的財産本部 開発推進部 千住雅俊

■ 内容

本セッションでは、若手知財実務者から、知財分野で働くことの意義について生の声で伝えてもらうようにします。本セッションに参加するのは、企業の知財部門で一定の経験を積み重ねて現在現場の第一線で活躍している30才代の方々です。

学会やシンポジウムでの知財人材の議論では、経験豊かなスピーカーを招いて、いかにして若手人材の育成を行うか、さらには、理想としての知財人材像（高いスキル・専門性と、法律・技術・ビジネスの融合である知財に対応しうる資質の両面を備えるグローバル人材、といった極めて高度な人材像）というものが議論される機会も多くあります。

本セッションにおいては、企業実務の最前線で活躍している若手自身に焦点を当て、日頃の業務の紹介とともにそのやりがいや苦勞、将来のキャリアなどについて考えていることを話してもらいます。知財関連の仕事に就くことを目指す学生の方にとっては、企業の知財部門での仕事はどのようなものであるのか、特に入社してからどのような業務に取りくんで実務経験を重ねていきそして将来のキャリアについてどのような考えを持つようになるのかを知る良い機会となると思います。また、同世代の方には日頃の問題意識を共有してもらい、また、若手を指導する立場の方や知財人材育成に携わる方にも若手世代の育成・キャリアプランニングについて考える機会としていただけることを願っています。

以 上